

## 寅さん歩 その 19

### バーチャルウォークで

### 日光道中を歩くー2



平野 武宏

バーチャルウォーク中山道六十九次（東下り）で江戸・日本橋へ戻った寅次郎、同じバーチャル記録帖にあるバーチャルウォーク日光道中二十一次で日光神橋（写真右上）を目指して、江戸・日本橋を出立します。進度はお散歩程度になりましたが、バーチャル記録帖の1マス2kmを塗りつぶしながら日光道中を楽しみます。

日光道中とは江戸時代の正式な呼び方で現在の日光街道です。徳川家康の廟所 日光東照宮が建てられ、その参詣の道として賑わいました。宇都宮宿までは奥州道中（奥州街道）と同じ道です。

寅次郎のバーチャルウォーク日光道中は2回目で1回目は2020年11月～12月に歩き、寅さん歩348～351東京の博物館めぐりの中で経過報告をしています。

今回は各宿場を紹介しながら歩きます。街道歩き委員会 内田 晃著「40代からの街道歩き 日光街道編」（集英社/三省堂書店）、五街道ウォーク・八木牧夫著「日光街道 奥州街道」（山と溪谷社）を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

前は江戸・日本橋から中田宿まで歩きました。今回は古河宿から石橋宿まで歩きます。

[古河宿] 栃木県古河市中央町一丁目 最寄駅 JR東北本線 古河駅

2024年8月6日古河（こが）宿（日本橋から62km）に到着しました。

小田原北条氏が滅亡すると古河城は徳川家康の家臣 小笠原秀正の居城となりました。以降代々譜代大名が城主となり城下町が形成されました。歴代将軍の日光社参の二泊目は古河城でした。一泊目は日光御成道の岩槻城です。

写真下左は当時の古河宿の面影が偲ばれる光景です。写真下右は古河藩家老の屋敷で古河城御三階櫓の余材で建てたと伝わり、1990年（平成2年）からは記念館として公開されています。



[野木宿] 栃木下都賀郡野木町野木 最寄駅 JR東北本線 野木駅

2024年8月6日野木宿（日本橋から66km）に到着しました。  
野木宿の西を流れる思川には野渡河岸、友沼河岸があり江戸との舟運が盛んでした。写真下左は野木宿の面影が残る民家、写真下右は野木神社です。創建は仁徳天皇の御代の古社、坂上田村麻呂が蝦夷征討の戦勝祈願を行い、その成功の礼として社殿を新築したと伝わります。



[間々田宿] 栃木県小山市間々田 最寄駅 JR東北R線 間々田駅

2024年8月8日間々田（ままだ）宿（日本橋から72km）に到着しました。  
間々田宿（写真下左）は思川の乙女河岸を控え物資の集積地として賑わいました。



写真上右は天平年間（729～749）創建の間々田八幡神社です。藤原秀郷が平将門討伐の際に祈願、乱が平定できたお礼に「神田」を奉納しました。以降この地は「飯田（まんま）」と呼ばれ、「間々田」の由来となったそうです。源頼朝も奥州藤原氏討伐の折に参拝しています。江戸時代は朝廷より日光参詣に使わされた例幣史も道中に必ずここに参拝したそうです。

## [小山宿] 栃木県小山市中央町

最寄駅 JR東北新幹線・東北本線・JR水戸線 小山駅

2024年8月10日小山（おやま）宿（日本橋から78km）に到着しました。小山宿は壬生通り、結城道、佐野道が集中する要衝で賑わいました。写真下左は本陣跡、写真下右は街道筋の商家の建物です。



徳川家康が江戸幕府の決め手となった関ヶ原の合戦の直前に「小山評定」という出来事がありました。家康は反乱を起こした会津の上杉貴勝を討つために江戸から遠征し、小山に陣を敷きました。その時、敵対関係にあった石田三成が大阪で兵をあげたと知らせが入ります。

この時に家康が部下の武将と対応策を行ったのが「小山評定」です。  
この軍議で徳川家康は居並ぶ武将たちを味方につけ、西に向かい関ヶ原で勝利をあげました。

[新田宿] 栃木県小山市羽川 最寄駅 JR東北本線 小金井駅

2024年8月14日新田（しんでん）宿（日本橋から84km）に到着しました。  
新田宿は日光道中で最も小さな宿でしたが、日光山、赤城山、大平山の眺望が最も良いといわれました。



写真上左は「新田宿本陣跡」、写真上右は「榎原（あしはら）神社」で1872年（明治2年）に地元の要望で神武天皇を祭神とする榎原神社になりました。それ以前の名は無限の知恵を持つ虚空蔵菩薩（こくぞうぼさつ）を祀る「星宮神社」でした。

[小金井宿] 栃木県下野市小金井一丁目

最寄駅 JR東北本線 小金井駅

2024年8月15日小金井宿（日本橋から88km）に到着しました。  
小金井の地名は小金井宿の西側に小金井という名の池があったからだそうです。写真下左は「小金井宿本陣跡」、写真下右は「小金井の一里塚」です。当初の塚は四角形で、東側に松。西側にエノキが植えられました。現在はどちらもエノキで東側はクヌギも混在しています。1922年（大正11年）に国の史跡に指定されました。



東京駅止まりのＪＲ東海道線が宇都宮線に乗り入れて上野東京ラインとなり、藤沢駅から東京へ帰るときに小金井行の車両が来て乗りました。ここが終点の小金井だったかと思って、親しい気持ちになりました。

〔石橋宿〕 栃木県下野市石橋            最寄駅    ＪＲ東北本線 石橋駅

2024年8月17日石橋宿（日本橋から94km）に到着しました。  
石橋の地名は池上明神の前に当時は珍しい石の橋があったことに由来することです。



石橋宿は幕府領で代官 北条雄之助が支配していました。  
写真上は「石橋宿本陣跡」、写真上右は 781 年（天応元年）創建の「開雲寺」です。1502 年（文亀 2 年）この地に移り、開雲寺と改名しました。徳川将軍や明治天皇の休憩所になっています。

今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝